

ネット 漂流

狙われた子どもたち

Vol. 18



子どもが トラブルに遭わないための 「LINE設定」の方法

NIT情報技術推進ネットワーク

篠原嘉一 (しのはら・かいち)

3億人を突破したLINEは、子ども達も多く利用している。しかし、その大半は設定をせずに使っている。設定があることすら意識していない子どもも多い。実際、LINEが起因するトラブルは設定さえすれば大半が回避できる。既に利用されている人も設定を今一度見直して欲しい。

導入時の注意点

LINEのアプリをダウンロードし、「新規登録」に進む→電話番号の承認と承認番号の入力が終わると「友だち追加設定」という項目が現れる。このページの「友だち自動追加」と「友だちへの追加を許可」の項目は初期設定が「オン」になっている。この状態で「次へ」を選んでしまうと、アドレス帳の中の電話番号と携帯メールアドレスがすべて運営会社LINE側へコピーされる。

この二つの項目は必ず「オフ」に変更しなければ自分の電話番号を知っている知人

すべてと繋がりを持ってしまう。それは知り合いとは限らない。利用者急増で、電話番号に新番号が無い現状では一度解約された番号を新しいユーザーに振り分けているため、この設定がオンのまま新規登録を完了してしまうと、以前の利用者の知人まで友だちとして紐づいてしまう。その相手には、自分のプロフィール画像やタイムライン上でのコメントや画像がすべて配信されることになる。新規登録時に決まってしまうために慎重に登録作業を進めてもらいたい。「オン」を「オフ」に必ず変えておこう。

既に新規登録時に設定を変更せずLINEを利用されている場合

LINEの画面から、「その他」を選び、「設定」をクリックする。設定項目の一覧から、まず「友だち」の項目をクリックして選ぶ。アドレス帳という項目を選び（iPhoneのみ）、友だち自動追加と書かれた画面が現れたら、「最終追加日」の項目欄が空白の人は、電話番号のデータが漏れていない人なのでそのままいい。しかし、日付と時間が表示されている場合は既にデータが繋がった状態になっている。この場合は、上下2つの項目を「オフ」に変更し、今後データが出て行かないように変更しておこう。既に漏れたデータは、相手がLINEを利用している場合は関係を切ることができないのでタイムラインでのコメントは慎重にしなければいけない。

次に、設定一覧に戻って、「プライバシー管理」をクリックして選ぶ。プライバシー管理画面の「IDの検索を許可」を「オフ」にして探されないようにする。「メッセージ受信拒否」は「オン」にして知らない人からのコメントを受け取らないようにしておこう。一番下にある「タイムライン・ホーム」の設定をクリックして、次の画面の「新しい友だちに自動公開」を「オフ」にする。その上にある「公開範囲設定」をクリックして、公開範囲の画面を開くと、自分の携帯番号を知っていて、なおかつLINEを利用している人が一覧で現れる。この中に知らない人物が含まれないか（以前の番号利用者の知人などが含まれている場合がある）確認して、タイムラインやプロフィールを見られたくない人の項目を「公開」から「非公開」に変更しておく。非公開を選んでも、トークは今まで通りに使用できるので問題はない。最初にプロフィール画像を登録した時点で、この公開になっていた人すべてに写真が送られているので注意して写真は掲載しなければいけない。「非公開」に変更したら「保存」をクリックして設定一覧に戻る。

トークを見られないように変更する

「アカウント」の項目をクリックして、アカウント画面の一番下にある「他端末ログイン許可」を「オフ」に変更する。オンのままだとパソコンからなりすましの被害に遭う場合がある。